

9月定例会

大雨被害復旧のための事業費を含む補正予算案を可決

9月定例会

主な議案の審議内容

令和7年第6回定例会を8月29日から9月19日までの22日間の日程で行い、市長より報告3件、諮問1件、議案8件、認定6件が上程され、決算特別委員会で審査する認定4件以外を原案のとおり適任・可決し、継続審査としていた陳情1件については不採択としました。

鹿角市児童クラブ条例の一部改正について

質問

十和田小学校の出入口は国道に面し非常に混雑し、進入路の幅が狭く、すれ違うのも困難である。十和田わくわく児童クラブの廃止により、十和田児童クラブへの送迎車両が増加し、交通事故の発生が危惧されるが、道路の拡幅工事などの措置を講ずる考えはあるか。

答弁

拡幅工事の予定はないが、安全確保について学校側と協議を進めたい。

人事案件

○人権擁護委員

菅原芳徳氏（新任）

令和7年度鹿角市一般会計補正予算（第4号）

○総務管理費

質問

公用車18台のカーナビについて、テ

レビ受信料未払いの期間は。また、今後の方針は。

答弁

期間はそれぞれ異なるが、最長で17年ほどであった。今後は市長車、議長車、大型バスを除き、公用車のカーナビは全て撤去する。

○有害鳥獣被害防止対策事業

質問

箱わなについて、現在の稼働状況は。また、熊の出没情報すべてに対応して設置できているか。

答弁

箱わなは現在38基あり、その稼働実績は、昨年度は1年間で83件、今年度は8月26日現在で既に80件に達している。秋の出没に備え、新たに箱わな5基と、GPS付きトレイルカメラ10台を追加導入することとした。

おり、捕獲圧を強めながら対策を充実している。

○地場産業原料米価格高騰対策支援事業

質問

支援対象者を酒造業や味噌・麴等製造業に限定しているが、米を扱う飲食店や菓子製造業などを含まないこととした基準などはあるか。

答弁

酒造用米及び加工用米の価格について調査したところ、2倍以上の価格上昇が見込まれる品種もあった。酒造及び味噌・醤油等の製造業は、本市の地場産業として今後も生産を継続していただくために支援を決定した。他の事業者については販売価格の変動により対応していることから、今回は対象外とした。

決算特別委員会を設置し決算を審査

令和6年度一般会計歳入歳出決算等の認定案件4件について、定例会最終日に決算特別委員会を設置し、議会閉会中の10月6日及び7日の2日間にわたり、審査を行いました。

委員からの質疑・意見等の詳細な審査内容については次号（2月1日発行）でお知らせします。

◆決算特別委員（9名）

委員長 佐藤 大介
副委員長 綱木 裕一
委員 浅石 昌敏
委員 兎澤 祐一
委員 館花 一仁
委員 丸岡 孝文
委員 赤坂 勲
委員 松村 託磨
委員 奈良明日香